

政務活動費を使用した議員活動について

ゴミ減量に対する抜本的な取り組みについて（平成30年4月25日～26日）

目的

平成34年に2市3町で構成される、知多南部広域環境センターが供用開始を予定しています。その時のゴミ処理にかかる費用は、家庭系ゴミの排出量の割合に応じて負担をすることが決まっています。現在の取り組みだけでは限界にきており、そのため新たにゴミ減量の抜本的な取り組みをしていく必要があります。ゴミ有料化がゴミ減量につながると仮定し、適正価格や有効性を調査・研究します。



視察先

東洋大学（山谷修作教授）・
東京都国立市・多摩市

学んだこと

- ・ゴミの見える化から全てがスタートする。見える化はゴミ減量を推進し、見えない化はゴミ減量を阻害する。見えるようにすることは、主にゴミの正しい排出方法、排出するゴミの処理費用、コスト等、ゴミ処理にかかる費用を認識してもらうこと。ゴミの有料化は意識改革の効果がある。
- ・ゴミ処理袋を有料化（手数料制度）にすると、大1枚50円で約17%から19%のゴミ減量効果がある。（山谷教授の研究結果）
- ・半田市に見合ったゴミ袋の適正価格は大1枚50円程度ではないか。理由はゴミ処理費用の約20%から30%の公平負担。
- ・有料化後の不法投棄が最初はあるので万全の対策と不法投棄しにくい環境整備（早期発見、迅速対応、通報、ネットワーク）が重要となる。
- ・住民説明会を徹底する。（広報で有料化特集号、ゴミの減らし方に関する情報、有料ゴミ袋が作成された段階での説明会では指定袋の現物を配布し認識を深めてもらう、情報流通を徹底しゴミ減量のチャンスととらえて啓発する）
- ・個別収集のゴミ減量効果は1.4%程度、コストは30%程度増加する。
- ・事業系ゴミの価格改定も行っていく必要がある。
- ・有料化導入後のゴミの排出量のリバウンドはない。

半田市に活かせること

- ・ゴミ減量（ゴミ排出抑制）のツールはゴミの有料化である。
- ・ゴミの有料化は市民への説明会等を徹底して丁寧に行っていく必要がある。
- ・社会的配慮を要する世帯、紙おむつを必要とする幼児や、障がい者のいる世帯等に対する減免措置などを講じる必要がある。
- ・不法投棄が予想されるので、地域担当職員等の配置による、早期発見迅速対応や通報、ネットワーク等、万全な対策が必要。
- ・事業系ゴミ価格改定の必要性。

傍聴にお越しく下さい

本会議は、議場傍聴席受付で「氏名・住所」を記入していただくだけで傍聴する事が出来ます。傍聴席では、一般質問、議案審議など、市政に関するさまざまな問題について、議員と市行政代表側の議論の様子を間近でご覧いただくことができます。

議会日程を議会事務局（TEL：84-0694）でご確認の上、ぜひ傍聴にお出かけください。